学校通信　夕陽丘　第３７号

【校長挨拶】

「進化論」と「無関心」

校長　杉山友重

皆さんは「進化論」という言葉をもちろん聞いたことがあると思います。進化論と言えば、最初に思い浮かぶ人物は誰ですか。そう、ダーウィン、チャールズ・ダーウィンです。イギリスが世界に誇る偉大な生物学者です。今から５年前にはダーウィンの生誕２００周年を迎え、また、かの有名な著作「種の起源（ON THE ORIGIN OF SPECIES)」が発行されてから１５０年という年でしたので、日本でもいろいろな企画が催されました。

ダーウィンはビーグル号という船で、世界を周って動植物を調査し、その調査事実から、進化（EVOLUTION）について初めて科学的に実証しました。

生物の「進化」については、進化は進歩するものだと考えられがちですが、必ずしもそうでもなく、生物の置かれた環境によっては、その環境に適応するために、生物の機能や器官が退化する、退行することもあるわけです。生物が生存するための必要な戦略ということになるわけです。

それでは、人の心や精神が退行することや退化することについてはどうでしょうか。なかなか難しい題目になりますね。話がややこしくなるので、ここでは心や精神の退化・退行についてあえて定義しません。皆さんの常識・良識ある感覚で考えてください。

例えば、今校舎内にゴミをあまり見かけませんが、清掃もしないで放っておくと、当たり前のことですが学校が汚くなります。もし皆さんがこの環境を良しとして適応するなら、皆さんの心はどうなるでしょうか。

また、相手を「思いやる」空気が感じられない学校、この環境を良しと考えるとすれば、どうでしょうか。

いずれの場合も心の退行・退化が進むでしょう。皆さんの精神が荒んでいくと言い換えた方が正しいかもしれません。

「この環境を良しと考える」と書きましたが、積極的に良しと考える人はいないと思いますので、むしろ、「無関心」と表現した方が正しいと思います。

マザー・テレサは「愛の反対は憎しみではなく、無関心」であると言っています。

皆さんには、心の退化、精神の劣化が起こらないように、悪い環境に適応するのではなく、一人ひとりが常に周りに「関心」を持って、積極的によい環境になるように変えていってほしいと願っています。

平成２６年度も夕陽丘高校らしく素晴らしい環境でスタートできたと思っています。1 年間この状況が続くように努力してください。

最後に。４月から本格的にゴミの分別が実施されています。教室には一般ゴミ、プラスチック、ペットボトル用のゴミ箱３箱を置いています。面倒ですが、皆さん一人ひとりの協力をお願いします。

発行　〒543-0035　大阪市天王寺区北山町 10-10　大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665　FAX 06-6771-6267　E-mail:z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ　http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka　（題字　森　敏行先生）

【第三学年】

学ぶことは進路実現の第一歩

学ぶ行為は人間力の芳醇な香りを味わうことが出来る

３年学年主任　諸 正 邦 彦

４月２５日（金）に小、中、高の 12 年間の生徒として、最後の校外学習にいきました。薫風香る春の一日、天気にも恵まれ淡路島でのバーベキューに舌鼓をうち、淡路島公園の広大な芝生公園でクラスの絆を深めました。

日一日経つことは、入試や卒業に確実に向かっていることでもあります。
まだまだ、先のことと思っているかも知れませんが、４月はもう終わりました。2014 年（平成２６年）の４月はもう決して戻って来ることはありません。月日が過ぎるとは、後戻り出来ないことを意味しています。

さて、３年生で大切なことは、自らの進路希望に「どう向き合い、その実現のためにどのようなアプローチを為すべきか」です。「貴方のために、貴方の友人が試験を受けに行ってくれません」。これが歴然とした事実（現実）です。過ぎた時を取り戻すことが出来ない事実に通じるものが、そこにはあると思います。「忍辱持久」（にんにくじきゅう）すなわち、毎日の生活を悔いなく過ごし、目標が遠く厳しくとも目標達成に向けてじっくり、腰を据えて、取り組むことが大切です。そのためにも「精進努力」が大切です。途中でくじけては、それまでの努力が水泡となり泡となって砕けてしまいます。そうならないよう何事も粘り強く「今、為すべきことを為す」、「為すべきことを為す」ことによって自信も芽生え受験に関する不安が静まります。「為すべきことを為さない」がために受験に対する不安が起こるのです。従ってただ単に「やる」ではなく「やり抜く」ことが大切です。

「やり抜く」とは、もう「これで良い」ということではありません。「徹底的」にする。これが大切です。自信の持っている「力」に謙虚にならなければなりません。傲慢な態度からは不遜しか生まれません。自分自身に妥協しない、自分自身を甘やかさない。「学び、知り、獲得する」その努力に邁進する。

そんな貴方を想像してみて下さい。一回りも二回りも大きく成長しつつある貴方を発見し「為すべきことを為す」、そんな自分自身を誇らしく思うことでしょう。この思いは「今、為すべきことを為す」ことを為している人にしか味わうことの出来ない芳醇で豊かな薫りです。一人でも多くの６７期の仲間が早く、この芳醇な豊か薫りを味わって欲しいと願っています。

しかし、そんな厳しく辛苦する毎日の生活であっても「和顔愛語」、明るく元気で前向きな精神を堅持し、「同事協力」の同朋精神で進路実現を目指す６７期の仲間同志、切磋琢磨し精一杯の努力で半歩でも前へ前へと前進していって貰いたいと願っています。目標に向かって努力することは結果として、精神を鍛え、洞察力を育み、生きる力、すなわち人間力を磨いていることになっています。

６７期生、己に甘えず妥協せず 頑張れ！　健闘を！

【第二学年】

去年とは違う特別な１年に

２年学年主任　井上　恭

６８期生の皆さん、２年生になって約１カ月が過ぎましたが、そろそろ慣れてきた頃でしょうか。高校２年は中だるみの年といわれますが、慣れがその原因の１つであることは間違いないでしょう。しかし、本来２年生というのは、学校行事、各種委員会活動や部活動において中心的な役割を果たす存在であるはずです。３年生は受験のため、夏休み前には活動の第一線から退いてしまいますから。２年生の皆さんには、学校の中心的な存在であるという自覚を持って、しっかりと種々の活動に取り組み、中だるみと言われないようにしてもらいたいと思います。

さて、その２年生の１０月には台湾への修学旅行を行い、国立桃園高級中学との学校交流を計画しています。日本とは歴史も文化も異なる台湾の高校生の皆さんとの相違点や共通点を、学校交流を通じて肌で感じてほしいと思います。さらに、交流をより有意義なものにするために、皆さんにはこれから１０月にかけて台湾についてさまざまな事柄を調べてもらいたいと思っています。

また、１１月から１２月にかけて、３年生の授業についての科目選択を行ってもらいます。３年生の科目を選択するためには自分の進路について何らかの具体的な案を持っていなければなりません。あと半年しかありませんからしっかりと考えてもらいたいと思いますが、選択に当たっては高校というシステムを利用してもらいたいと考えています。皆さんは気付いていないのかもしれませんが、高校というのは素晴らしいシステムです。

２年生の１週間の授業を思い浮かべて下さい。４５分の授業を１時間と数えることにすると、皆さんは、１週間に１５前後の科目を３４時間にわたって学習しています。その上、学習する科目は、古典や歴史、外国語などの人文科学、数学や理科などの自然科学、家庭や保健体育、芸術など多岐にわたっており、科目ごとに専門の先生がやってきて皆さんを教えてくれます。１５種類前後の分野の専門家が皆さんを１年間にわたって教え、その学習をサポートしてくれるというのです。実生活において、高校以外でこんなシステムは存在しません。大学でも複数の専門家が学生を教えますが、その分野は高校ほど多岐にわたってはいません。すなわち皆さんは、人生においてたった１度しか経験できないシステムに身をおき、１年間を過ごすことになっているのです。そして、この１年間の前半までで自分の将来像を決定することになっているのです。もちろん、すでに自分の将来像が描けている人は、自分が選択した分野が自分に合っているかをその分野の授業を受けつつ、自分で考えたり自分を試したりしながら確かめていってほしいと思います。一方、まだ将来像が描けていない人はこのチャンスを逃してはいけません。種々の分野の様々な場面において自分で考えたり自分を試したりすることにより、自分の向いているものや興味を持てると感じられるものを見つけてください。それをさらに追求しようと思えたとき、将来の道も決まってくるのだと思います。

どちらの人にとっても２度と経験できないシステムの中で過ごす大切な１年です。決して無為に過ごすことなく大いに自分を試し、大いに自分で考える１年であってほしいと思います。そうすることにより、今年が皆さんのだれにとっても去年とは違う特別な１年になることを心から望んでいます。

【第一学年】

今を輝く 69期

１年学年主任　草間　義彦

「今を輝く６９期」この学年スローガンのもと、夕陽丘高校６９期生はスタートしました。「一瞬一瞬（今）を大切にし、何事にも一所懸命に取り組もう、そうすることで高校生活が充実（輝く）したものになる。」また、自分が輝くためには、周りも輝く必要があります。「まわりの仲間たちへの思いやりの気持ちを大切にしよう、そうすることで６９期全員が輝ける。」という意味を込めています。平等に与えられた時間を有効に使い、思いやりの気持ちを持って行動できる学年になって欲しいと思います。

さて、１年生は、４月２５日（金）から１泊２日で「３年後の受験を見据えての学習の取組み方（自学自習の精神）を学ぶ。」そして、「クラスワークで、意見を出し、聞き、まとめ、発表するという活動をとおして、クラス作りをし、学校生活への不安を解消し、豊かな高校生活を送ることが出来るようにする。」ことを目的として研修を行いました。

そのプログラムを下記に紹介します。

1日目		2日目	
8:00	集合(8:05出発)	6:00	起床
9:15	ホテル着	7:00	朝食
9:45	開講式、オリエンテーション	8:15	3教科テスト(国語・数学・英語)
	・校長、学年主任より	11:10	ホテル発
	・5教科の勉強法(各教科より)	11:50	大山崎町体育館着・昼食
	・進路関係講演	12:40	クラス対抗校歌コンクール
12:10	昼食	13:10	クラス対抗校大縄跳び大会
13:30	全体学習会(3時間)	13:50	クラス別レクリエーション
18:00	夕食	14:25	更衣・片付け
20:00	テーマ別クラス討議	14:45	閉講式(成績発表・表彰)15:05体育館発
22:30	点呼・消灯	16:00	学校着

１日目の午前中の学習についての講義の中では、「常に疑問をもって授業に臨む」「本当の勉強とは（勉強と作業の違い)」「勉強開始 30 分の我慢」など具体的な話が聞けたと思います。

昼食後の 3 時間は、モンゴルからの留学生のトゥーギ君も含めて 321 名学年全員で自習をしました。一切の私語なく集中した時間でした。夕食後のクラスワークでは、テーマ別に分かれ、事前アンケートをもとに、意見を整理し、まとめ、班ごとに発表をしました。班討議が盛り上がり、時間を延長したクラスもありました。

２日目、ホテル出発前に昨日の成果を見るためのテストで学習のまとめをおこない、大山崎町の体育館へ、まず校歌コンクール。各クラスとも体育館に響き渡る歌声、最後の全員での校歌は入学したばかりの１年生とは思えないほどの斉唱で、びっくりしました。次に、大縄跳び大会、クラス別のレクリエーションと大変盛り上がりました。

２日間を通して、一つ一つのプログラムをしっかりと取り組めたと思います。その成果がでるのはこれからです。学校へ戻ってから、この研修で感じた事を、学んだことを実践できるかがポイントです。「なるほどと気づく人が１００人いたら、それを始める人は１０人、そして続けられる人は１人」という話をこの研修で聞きましたね。それでいくとこの研修を活かせる人は学年で３人ということになってしまいます。しかし、６９期生は、全員が続けられる１人になって欲しいと思います。

【進路指導部】

2014（平成 26）年度入学試験合格状況　（普通科７クラス、音楽科１クラス）

＊＊　国公立大学　＊＊

普 通 科	現	浪	計
大阪大学		1	1
神戸大学	1		1
大阪教育大学	3	1	4
奈良女子大学		1	1
京都工芸繊維大学		1	1
和歌山大学	1		1
三重大学	1		1
信州大学		1	1
愛媛大学		1	1
宮崎大学		1	1
大阪市立大学	1	2	3
神戸市外国語大学		1	1
兵庫県立大学	1	1	2
高知工科大学	1		
京都市立芸術大学		1	1
奈良県立大学		1	1
計	9	13	22

音 楽 科	現	浪	計
東京芸術大学	1		1
大阪教育大学	6		6
京都市立芸術大学	4		4
愛知県立芸大	2		2
計	13		13

＊＊　主な短期大学と専門学校　＊＊

普通科･音楽科	現	浪	計
大阪キリスト教短大	3		3
大阪女子短大	1		1
近畿大短大部	1		1
常磐会短大	1		1
神戸女子短大	1		1
大阪警察病院看護専門学校	3	1	4
大阪コミュニケーションアート専門学校	2		2

＊＊　私立大学　＊＊

普通科･音楽科	現	浪	計
関西大学	52	16	68
関西学院大学	34	10	44
同志社大学	26	10	36
立命館大学	6	12	18
近畿大学	94	36	130
龍谷大学	48	5	53
甲南大学	13	1	14
大阪音楽大学	13	2	15
京都女子大学	16		16
同志社女子大学	26	10	36
武庫川女子大学	16		16
佛教大学	17	2	19
京都外国語大学	14		14
関西外国語大学	11	1	12
畿央大学	24		24
摂南大学	14	1	15
桃山学院大学	10		10
大阪経済大学	8		8

今年度は主要私立大、関関同立の延べ合格者数が前年度比で34％増、産近甲龍が23％増という結果になりました。理由として浪人生が活躍して合格数を伸ばしました。現役生は、同志社で大幅に合格者数を伸ばしました。国公立大に関しては、普通科、音楽科あわせて現役合格者は22名で特に音楽科が健闘し、13名合格しました。ただ浪人の合格は13名で、合計35名となり、昨年より5名の増加でした。

早稲田大学1名、明治大学1名中央大学2名など東京都の有名大学にも少数ですが合格者があります。

昨年に引き続き、後期入試まで頑張って志望校に合格した人が何人もいます。国公立大でもセンター試験の失敗を二次試験で取り返し、合格した生徒もいます。すべての科目にわたって最後まで授業を大切に地道に努力した現役生は１月以降もさらに学力が伸びるという傾向がはっきりしています。また、国公立大合格者の多くは遅刻欠席がなく、きちんと最後まで学校生活を送り、学校の授業、講習を中心として頑張ってきた生徒でした。

【音楽科】

放課後のひととき
気軽にコンサートを聴いてみませんか？

～音楽行事・イベントを活用しましょう～

本校は、府内で唯一音楽科のある公立高校です。学校では、年間を通して様々な音楽行事・イベントを行っています。例えば、《特別公開講座》として放課後のヴィオーラホールに国内外で活躍中の著名な演奏家をお招きし、演奏会を行っています。講座などイベントのご案内は、各クラスの掲示板でも行っています。生徒の皆さんだけでなく保護者の方も無料でお越しいただくことができます。(事前のお申し込みは不要です。)

また、年に３回、《ピッコロコンチェルティスタ》という学内演奏会を行っています。出演会へ出演を希望する場合は音楽教員まで声をかけてください。

～今後の予定～

＊ウィーン音楽研修説明会：５月１２日(月)１６：００～ヴィオーラホール

来る３月末に実施するウィーン音楽研修について研修内容や費用などの説明会を行います。少しでも興味のある人はぜひ出席してください。保護者のご出席もお待ちしています。

＊６月７日(土)１２：００～第１５６回ピッコロコンチェルティスタ～学内演奏会～

＊６月１９日(木)１３：３０～１４：３０　特別公開講座《トランペットの魅力》

菊本和昭氏　(NHK 交響楽団)が演奏とお話をしてくださいます。

【保健部】

ストレスフルな現代社会を生きるために（その１）

ストレスについて

試験や試合・発表会などの『プレッシャーを感じること』をする直前とその１週間前に、あなたはどんな工夫をしていますか？また、『人間関係』で嫌なことがあった後に、あなたはどんな工夫をしていますか？どうすればそんなストレスを軽くすることができるのでしょうか？いっしょに考えてみましょう。

ストレスとは？

私たちは日常生活の中で、様々な刺激や出来事に遭遇します。これらの刺激や出来事を「**ストレス**（正確には『**ストレッサー**』）といいます。また、ストレスによって引き起こされる心身の変化や行動の変化を「**ストレス反応**」といいます。

ストレスには、自分の心身を苦しくしたり嫌な気分にしたりする「**悪いストレス**」と、自分を奮い立たせたり勇気づけたり元気づけたりする「**よいストレス**」があります。しかし、私たちにとって「**よいストレス**」になるか「**悪いストレス**」になるかは、その人の受け止め方や感じ方などの認知要因に加え、その人の身体的条件やその人を取り巻く人間関係、あるいはそれを受けた時と場合によって異なってきます。

例えば、ある人にとって「試験を受ける」ということが「**悪いストレス**」となって、それが緊張感やあせり・イライラなどを伴う様々な**ストレス反応**をもたらします。試験の前には、「絶対合格しなければ」「よい成績をとらなければ」「親や友だちによく思われたい」などと、試験に付随したいろいろな思いが入り乱れて**ストレスレベル**を高めてしまいます。しかし、試験勉強していくうちに、「**今の自分の能力でできる範囲で、最後まで全力を尽くそう！」と思い直すことができれば、ストレスは低下**

していきます。しかも、苦しい試験勉強を乗り切った時には**達成感や充実感**があり、次のストレス状況に対しても自信が持てるようになるでしょう。そうなると、「試験を受ける」ということは**「よいストレス」**として機能したことになります。

今年は保健部より、ストレスとストレス対処法（coping skill）について取り上げてみたいと思っています。

☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆★☆☆

【国際交流委員会】

「*Beyond Words*」～言葉を越えて～

「国際交流」からみなさんがイメージするものは何ですか。やっぱり英語でしょうか。でも、「私、英語できひんし、無理…」と最初からあきらめていませんか。

今、２年生のコミュニケーション英語の授業で *Beyond Words* というレッスンを読んでいます。本文によると、私たちが行うコミュニケーションのうち、言葉が占める割合はわずか３５パーセントだそうです。では残りの６５パーセントは一体何なのでしょうか？

実は…顔の表情や、アイコンタクト、声の調子など、言葉以外の要素が全体の６５パーセントを占めるそうです。つまり、とっさに言葉が出なくても、笑顔がみなさんの気持ちを代弁してくれる、ということなのです。

夕陽丘高校には現在６名の留学生がいます。まずは身近な「国際交流」を笑顔で始めてみませんか。

≪４月の活動報告≫

＊４月１６日（水）、オーストラリアの International Grammar School から高校生８名、中学生１９名、付添の教員７名の計３４名が本校を訪れました。音楽を通しての交流が目的で、本校吹奏楽部との即興合同演奏も行いました。音楽に国境はないことを肌で実感できる交流会でした。

＊４月３０日（水）、今年度から本校で勉強することになった、モンゴルからの留学生トゥーギとニュージーランドからの留学生エイミーの歓迎会を行いました。クラスメイトたちもたくさん参加してくれ、賑やかな会となりました。

創立記念講演　　映画監督　前田哲氏をお迎えして

『未来は、君たちがデザインするんだ』

本校 34 期生の映画監督、前田哲氏を講師にお迎えして、創立記念講演が実施されました。

「高校時代に、文化祭で制作上映した映画が他のクラスに負けてしまい、悔しい思いをした挫折経験から生まれた自分を見返したいという気持ちが、今の映画監督として頑張っていく上での原動力になっている」というお話から始まり、「自分のやりたいことは自分で決めていく。人がなんと言おうと、自分が決めたことを一生懸命やっていくことが大切である。」「今やっていることに無駄なことは一つもない。結果は今すぐ出るものではなく、10 年後 20 年後に出るものである」など、ご自身の歩んでこられた経験から出される言葉には説得力があり、生徒たちの心をぐいぐい引きつけていかれました。講演後も、生徒たちからたくさんの質問が出され、一つ一つの質問に誠実に答えて下さいました。

また、監督として成功した今も、「今後映画を撮り続けることができるのか不安な気持ちと戦い続けている。自分を信じて努力していくしかない」というお気持ちを明かされました。非常に印象深い講演でした。

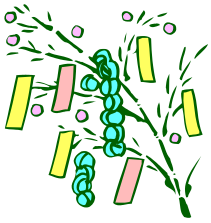
◆◇◇◆◇◇◆　今後の予定　◆◇◇◆◇◇◆

5 月

19 日(月)～22 日(木)　前期第 1 中間考査
23 日(金)　防災訓練・結団式
29 日(木)　＜午後＞体育祭準備
30 日(金)　体育祭

6 月

7 日(土)　英語検定　・　ピッコロ
14 日(土)　3 年模擬試験
16 日(月)～20(金)　懇談週間
21 日(土)　中学生対象学校説明会
22 日(日)　天高戦開会式



7 月

1 日(火)～7 日(月)　前期第 2 中間考査
11 日(金)　＜午後＞芸術鑑賞
18 日(金)　夏期休業前集会　・　大掃除
26 日(土)　音楽科設立 20 周年記念演奏会

掲示板を覗いてみよう

～　あなたの心に残る一言との出会い　～

毎朝、必ず通る正門ですが、その左前方にある掲示板を見ることはありますか。友達との会話に夢中で、あるいは下を向いて歩いてばかりで、そんなものあったっけと、存在すら気づいていないという人もいるかもしれませんね。たまには、掲示板に目を向けてみて下さい。そこには色々な情報が満載です。季節の言葉を紹介した「二十四節気」や偉業を成し遂げた人たちの言葉などです。今掲示されている言葉を紹介します。

「謙虚　謙虚であれば、人間いろんなものに気づくものです。謙虚こそが人間を一流に導く根源である。」　　**野村　克也（野球解説者）**